

No. C01	Aグループ	年月日	令和6年3月5日(火)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在のフリーランスという働き方は、仕事がしやすく自分に合っていると思う反面、結婚を考える状況下で、収入面や安定性から会社勤めをした方が良いとは思いますが、今さらできるのかと不安に感じている。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

フリーランスは厳しいと感じ、しっかり生活ができるようにしなければいけないと分かっているが、会社勤めに抵抗がある、と迷いがある相談者に必要なことを考え、自己理解を深めてもらうため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 仕事をもらっていた前職の会社の経営が厳しくなったにも関わらず、仕事を獲得しようとせず仕事理解不足がある。また自身のキャリアに対する中長期的な見通しが無く、自己理解不足もある。

②その根拠 独立後も前職の会社から請け負う仕事に依存し、仕事量が減っても焦りを感じるだけで主体的に仕事を獲得するための行動を起こしていない。また、結婚を機に安定したい気持ちと会社勤めに対する抵抗感から漠然と不安を感じ、自身のスキルや技術を活かしたキャリアプランが描けていない。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

今後どうしていけばいいかわからず来談頂いた相談者を労い、迷っている気持ちを引き続き傾聴し信頼関係の構築に努める。そのうえで、なんとなく就職や独立を決めてしまった相談者の職業観を問いかけ、働くうえで重要視する価値観に気付きを与えられるよう関わる。そして独立した現在、主体的に仕事を獲得しなければならない自身の働き方について改めて考えていただく。また自身のスキルをどのように活かして行くのか、今後のライフイベントの計画と併せて相談者と共に考え、具体的な計画を見通せるよう促す。最終的には、相談者が主体的かつ能動的に、働き方を選択できるようご支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C02	Aグループ	年月日	令和6年3月5日(火)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

フリーランスから独立して4年、フリーのイラストレーターとして働いているが、コロナ禍で収入が減ってしまった。結婚も考えているため、収入を安定させていく会社勤務も考えるができるのかわからず、今後どうしようかと考えている。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

相談者の言葉と伝え返し受けていることを示しながら、フリー生活でどのようにしたいかを言った背景や価値感を短的に明確化し、確認して今後の問題把握にしている意図。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 相談者の問題は1)今さら会社勤めなんてできるのかなと考えてしまう自己理解不足、2)フリーランスで働くメリットデメリットをあまり理解しないうちに今日に至り、自己理解不足。

② その根拠 1)については「今さら会社勤めなんてできるのかな」という発言や以前の会社では人間関係が煩わしくてフリーの方が自分には合っていると考えていること、2)については「なんとなく流れから独立した」という発言や前職の会社から仕事も増えたと収入が厳しい状態に陥ったこと。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

結婚を考えて将来の為に不安定な収入を不安に思う気持ちに寄り添い、関わり構築を促す。まずは自己理解の為に決まった仕事で成功し、専ら仕事に専ら取り組むことと対話を通じて振り返りながら、ジョブカードを使って社会人経験で身につけたスキルや経験を相対化する。また、フリーランスと会社員との働き方の違いによる相談者が考えるメリットデメリットを書き出してもらう可視化する事で、働き方に対する理解を深めるサポートをする。そこから踏まえて相談者がよく自分に合った働き方見つけ、安定した収入を得る方法(兼業副業など)も選択できるようにする。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C03	Aグループ	年月日	令和6年3月3日(日)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

フリーランスでイラストレーターをしているが、コロナ禍での収入減や結婚を考えていることを機に安定したいと就職を考えている。

ただ、今の自由な働き方は自分に合っているし、これまで就職活動をしたこともなく、どうしたら良いかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

伝え返しにより相談者の「安定しなければ」という気持ちを受け止めラポール形成をしつつ、その想いについてさらに発言を促す。そしてその背景や考えについて言語化してもらい、明確化したいと考えた。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1)「安定したい」という焦りと囚われ、結婚後どのような家庭を築きたいか等のプランがなく自己理解が不足している。(2)「安定=会社に就職」という思い込みがあり、仕事理解や戦略が不足している。

②その根拠 (1)「安定」以外の具体的な希望がない点や「相手の両親も心配すると思う」「肩身が狭い」等の発言から、パートナーや家族とのコミュニケーション不足がうかがえるため。(2)収入を上げるために会社に就職する以外の選択肢がない点や、これまでの就職や独立の経緯についても「先輩の勧めで」「流れで何となく」等の発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

(1)引き続き相談者の気持ちに寄り添いラポール形成を深めながら、イラストレーターの仕事のやりがいや、結婚後どのような家庭を築きたいか等について相談者の想いを聴く。(2)そのうえで、マイ・ジョブカードのキャリアプランシート作成を（同意の上で）提案し、価値観や仕事での実績について棚卸しする。また、理想の働き方や必要な収入等の条件について、今後のライフを含めた理想のキャリアプランについて明確化していく。必要に応じて、パートナーや家族とのコミュニケーションも促す。(3)その理想について実現するために、現職のままでは何ができるかや、job tagを用いたその他の仕事の情報収集など、情報を得て整理できるよう促す。以上により相談者が主体的にキャリアを描き、必要な意志決定ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C04	Aグループ	年月日	令和6年3月4日(月)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

油絵で生活している。油絵の先生から教わった。デザイン会社に毎週通う。現在はフリーランスワークで生活している。コロナ禍で収入が減り、フリーランスで働くのが難しいと感じ、結婚を断り、定年退職後の生活が心配。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者の言葉を繰り返して、受容する姿勢を示し、関係性の構築を図る。具体的に安定した生活のためにやりたいことを確認し、気持ちを整理しながら課題を明確化し、今後の支援方針を整理する。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主として、(1)フリーランスワークの継続が難しいと感じては生活が厳しいと不安定な生活の思いが強いこと、(2)結婚を断ることで一人での生活が困難な点。

②その根拠 (1)「コロナ禍で収入が減ってしまっ下」「フリーランスで働くのが難しいと感じる。」「安定した気持ちがある」との発言。(2)「結婚を断るには相手の親を心配してはならない」「実家暮らしで家で仕事をしているが、専業主婦が夫の扶養に入っている」との発言。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の不安な気持ちを受容し、共感的に理解しながら寄り添い、キャリアと生活の両方に焦点を当て、以下のように行う。(1) 今までの生活と比べて一度整理するために、現在の生活の棚卸をして、安定感と回復のための提案をし、安定した仕事を探してもらう。本人が確認したい点で興味のある職種を提示して、相談者が納得できるように行う。(2) 相談者自身が心配を周りに掛ける不安な気持ちを減らすため、お相手・相手の両親、実家の両親に今思っていることと伝えたいことを伝える。以上のように相談者が将来に向けたライフワークバランスを主体的に意思決定できるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C05	Aグループ	年月日	令和6年3月12日(火)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在フリーのイラストレーターとして働いているが、コロナ禍で収入が減った事、また結婚も考えており、会社に就職した方が良いと思うが、転職活動方法についてどうすれば良いか分からない事。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

今の相談者にとって、合っていると自覚しているイラストレーターの仕事より、安定した仕事に就く事の方が関心が高いのか、相談者の内省を促すと同時に真意を明確化する意図があると思われる。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1) 自己理解不足、仕事情報不足により相談者が転職にあたり何から手を付けてよいか分からなくなっている事。(2) 周囲とのコミュニケーション不足から一人で抱え込んでいる事。

②その根拠 (1) 「自分で就職活動なんてしたことがない」、「今さら会社勤めなんかできるのかな」「生活を安定させるにはどうしたらよいか」という発言から。(2) 「自分が何とかしないといけない」「相手の両親も心配すると思う」「家で仕事をしている分、肩身が狭い」という発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者のどうすればよいかという不安な気持ちに寄り添い、これまで頑張ってきた事を労いつつ、引き続きラポールの形成に努める。相談者の合意のもと、まずは自己理解を深めるためにマイジョブ・カード等を使用しながら仕事の棚卸しを行ったり、キャリア・アンカーについて一緒に考えたりする。また、自身の価値観について自己理解を深めて頂いたうえで、転職活動に関する情報提供を行う。さらに周囲とのコミュニケーションを促す事で、自身が合っていると感じる仕事や働き方を大切にしながら両立できるような方策も一緒に模索する。以上により、相談者が主体的に決定し、行動できるよう支援を行っていく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C06	Aグループ	年月日	令和6年3月3日(日)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

デザイン会社に就職し4年前フリーのイラストレーターとして独立したがコロナ禍で収入が減ってしまった。結婚も考えているし、就職し収入を安定させたいがどうしていいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

コロナ禍で収入が減ってしまい、フリーで働くことが厳しくなり、更に結婚を考えることをきっかけに安定した仕事に就きたいという気持ちを話してもらえるよう促しているため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は次の通りと考える。(1)労働市場における自分自身の価値が自己理解不足。(2)就職に対する情報不足。(3)パートナーとのコミュニケーション不足。

②その根拠 (1)「なんとなく決めた」「なんとなく流れから独立した」あたりから。(2)「今さら会社勤めに戻るのは抵抗ある」「自分で就職活動をしたことがない」あたりから。(3)ご両親の話は出てくるが、パートナーがどう思っているのか全く話に出てこないため。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、コロナ禍で収入が減ってしまったことに関して、ご苦労を労いつつフリーのイラストレーターの独立したきっかけや今の仕事内容について丁寧に傾聴し、ラポール形成を進める。そのうえで実際に仕事を探すため、ご本人に許可を得てキャリアシートを作成し、お仕事の棚卸しをしてもらう。また job tag 等を使い、現在の労働市場の理解を進める。また、パートナーがZさんのお仕事についてどう思っているのか確認してもらう。以上、多方面からZさんのキャリアを支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2024.3)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙